

第28週の発生動向(2007/7/9~2007/7/15)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内において第26週から、東地方+青森市保健所管内では第27週から**警報**が継続しています。

第28週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ	2	0.14											2	0.03	0			2	0.17
(72) RSウイルス感染症							1	0.20					1	0.02	1				
(73) 咽頭結膜熱	3	0.33	5	0.56	2	0.22			10	1.67	6	1.50	26	0.62	4	2	2.00	1	0.13
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.33	9	1.00	1	0.11			13	2.17	3	0.75	38	0.90	-3	1	1.00	11	1.38
(75) 感染性胃腸炎	19	2.11	3	0.33	5	0.56	9	1.80	4	0.67	11	2.75	51	1.21	-30	2	2.00	17	2.13
(76) 水痘	3	0.33	4	0.44	3	0.33	4	0.80	8	1.33	9	2.25	31	0.74	-10			3	0.38
(77) 手足口病	3	0.33	6	0.67			1	0.20					10	0.24	0			3	0.38
(78) 伝染性紅斑					3	0.33			3	0.50	2	0.50	8	0.19	-3				
(79) 突発性発しん	2	0.22	4	0.44	2	0.22	2	0.40	1	0.17	3	0.75	14	0.33	-11			2	0.25
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	52	5.78	86	9.56	3	0.33	2	0.40			15	3.75	158	3.76	7			52	6.50
(83) 麻しん(成人を除く)															0				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.44	1	0.11	8	0.89	4	0.80	2	0.33	1	0.25	20	0.48	-12			4	0.50
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎							1	1.00					1	0.09	-6				
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00							4		-1				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む) 報告数は速報値です。

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、八戸1人、五所川原1人 (19年計:73人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患): 弘前保健所1人 (19年計: 8人)
- (47) 急性脳炎(五類全数把握疾患): 弘前保健所1人 (19年計: 2人)

感染症の窓

伝染性紅斑



図 過去6年間の全国および青森県における発生状況

本感染症は、**顔面の紅斑**(両頬がリンゴのように赤くなるのでリンゴ病とも呼ばれています。)を特徴とした、子供に多いウイルスによる流行性発疹性疾患で、飛沫や接触により感染します。特に、妊婦感染では、胎児異常や流産等を引き起こす可能性があり、発疹が現れる7~10日前にウイルスの排泄が最も多いことから、妊娠中の方は、流行している保育園等の施設には、近づかないなどの予防対策が必要です。また、妊娠中に感染した場合は、医療機関等に相談することをお勧めします。